

くしろせんもん学校 出前・体験授業一覧表

こども環境科による保育・幼児教育に関する講座

講義名	授業内容
①子ども家庭の変化 (子ども家庭支援論)	子育てが難しくなっているとされる現代、家族の多様性やジェンダーの視点を取り入れながら、子ども家庭の変化を読みとき、支援の必要性を解説します。
②自然に親しもう (保育内容の指導法 (環境))	子どもが自然に関心をもち、自然の不思議さに気付くためには、保育者が自然にかかわる体験が欠かせません。身近な植物を使った遊びを通して、領域「環境」の内容を体験しましょう。
③子どもの遊び (こどもの遊びと文化 I・II)	子どもは遊びを通して、身体、社会性などさまざまな部分を成長させていきます。児童文化としての子どもの遊びを体験しましょう。
④ペープサート作り (保育内容の指導法 (言葉))	保育士、幼稚園でお話するときよく使われるのが紙で作った人形—ペープサートです。簡単に作れることが魅力のペープサートを作ります。
⑤ コラージュ (図画工作)	保育で色紙をちぎり貼る活動につながるコラージュ。広告や雑誌など、いろんなものを貼ってオリジナル作品を作ってみましょう。
⑥子どもの運動遊び (体育)	子どもは身体を使って遊ぶのが大好き。幼児が楽しめる運動遊びを体験しましょう。
⑦手作り楽器 (音楽表現)	楽器を手作りして演奏できれば楽しいですね。簡単に作れる手作り楽器を一緒に作ってみましょう。

くしろせんもん学校 出前・体験授業一覧表

介護環境科による高齢者理解・介護技術に関する講座

講義名	授業内容
①認知症の人の支援 (認知症の理解)	私たちにも認知症の人のためにできる「何か」があります。その「何か」を一緒に考えていきます。
②らくらく着脱体験 (生活支援技術)	片手が不自由になったらどうやって服を着る？実は、ちょっとした工夫で楽に着脱できるのです。
③コミュニケーションワーク (コミュニケーション技術)	相手の言葉・本心を会話から引き出そうする時には、聞く人の姿勢が大切です。コミュニケーションワークを通して、話の <u>聴き方</u> を学びましょう。
④車いす、触って押して乗ってみよう！(生活支援技術)	普段は使用しない車いすを実際に押したり、乗ってみたりして、車いすを利用する方々の気持ちに近づいてみましょう。
⑤高齢者、障がい者の疑似体験 (生活支援技術)	この授業では四肢制限、体幹のアンバランス、白内障ゴーグルなどの疑似体験セットを使用して、その方たちの日常の不自由さを体験していきます。
⑥「アクティビティケア」とは (アクティビティケア)	アクティビティケアは一人ひとりに寄り添ったケアをデザインしながら、その人の心が豊かになるアクティビティを見つけていくものです。“心の栄養補給”を共に学びましょう。
⑦医療的ケアとは (医療的ケア)	看護師の資格を持つ講師が、医療的な観点から高齢者の身体的特徴を踏まえて、日常生活に医療的ケアが必要な方の支援についてお話しします。一人ひとりの生活をどう支えていくのか？介護福祉士の役割を一緒に学びます。